

**ドラゴンキングフェスティバル
本年度はお寺にて三部制で開催**

夏のお話になります。このフェスの案内が昨年同様届いたことに驚かれた方も多かったと思います。少し内容は変わりましたが、八月末に開催されたキッズフェスは無事円成致しました。今年の子供の行事は、花火大会やラジオ体操など軒並み中止となり、やめる理由は探さずとも誰もが簡単に納得できる状況でした。むしろ難しいのはこの状況下で形を変えてでもなんとかやる選択は地域の御寺として、皆が中止だから中止にするという思考に乗っかってしまうのは本当に正しいことなのかを自分なりに咀嚼して考えました。もちろん何かあれば吊り上げを食らうリスクもあつたわけですが、蓋を開けてみれば私達の想いに賛同してくれる人、むしろ喜んでくれる人の方が多かつたように感じています。実際エントリー開始後は例年より早く定員に達したと記憶しています。あの時「大勢が正しい」ということなく広がった空気感に流されず、子供達が笑顔になれる行事



今年のメイン！住職が創作したスマートボールゲーム

をやり切れたことは、非常に大きな価値があったと思えます。あの状況の中でも多くのご支援ご志納を賜ったこと、そして運営スタッフとしてお手伝い頂いた皆様には、心より感謝申し上げます。内容については、今回大人数を一か所に留めるようなショースタイルの催し物は三密を回避するため全て取り入れませんでした。昨年の住職の自信作であるジャンボガラポンのほか、新たなラインナップとしてジャンボスマートボールをDIYで作し、人気アニメの鬼滅の刃の缶バッジが当たる釣り堀ゲームやルーレットダーツも創作しました。どれも子供達には盛況で、かなりの話題性があったと思えます。今年の内容で、普通のお祭りにないこのイベントのクオリティの高さを更に印象付けることが出来たと手応えを感じています。また今年からは、昨年末までお借りしていた高校の体育館は使わず、お寺の本堂、広間、屋上を使つて



(左) 全集中！缶バッジ釣り堀ゲーム
(右) お馴染みのスーパーボールすくい
※お寺の本堂、屋上、一階広間を活用致しました

**HTBの情報番組
「しあわせ散歩」に出演**

八月末のことになります。神社仏閣を訪れる情報番組のコーナー「しあわせ散歩」に出演致しました。巷では人気のコーナーで見ている方も多く、早速お電話をくれた方もいました。やはり自分の知っている住職やお寺がテレビに出るのは嬉しいようで、その後もあちこちで反響を頂いております。実はこのオフアワーは数年前に一度お断りしたことがありました。当時の私の価値観では、新参者のお寺があまり露出すると、快く思わない御寺院様もいるのではないかと考え、極力メディアへの露出は控えていたのですが、あれから数年が経ちその価値観から一歩抜け出せたので、今回のオフアワーを承諾する運びとなりました。テレビ局側もその心境の変化を推察して、一度断られたにも関わらずこのタイミングで声を掛けてくださるはさすがです。(笑)内容はと言え、やはりプロの仕事は素晴らしく物づくりに掛ける想いが随所に伝わる編集であったと感じています。わずから分



南区澄川にあります
観音院 やってまいりました



観音院
平成25年(2013年)住職が自宅を改造して建立
最初は祭壇や本堂も手づくりだった

「しあわせ散歩」コーナー映像VTRの一部

程度の内容の中で、このお寺の特長を巧みに捉え興味深く伝えてくれました。特にテレビの場合、自分の意向に添わない内容になってしまうことも多々あるのですが、今回は本当に丹精を込めて創作してくれた印象です。たまたまディレクターさんが高校の後輩であったので無言の圧力が掛つたのかもしれない。(笑)今後もメディアの出演機会があれば積極的に臨みたいと思います。

**西岡COCOスペースにて
住職の出張終活セミナー実施**

十一月月上旬、西岡にて新規オープンしたコミュニティスペース「COCOスペース」にて終活セミナーを実施致しました。今回友人である今野さんからのオフアワーを受け、開業初の講座イベントとして終活セミナーをさせて頂いたわけですが、テーマは「家族葬・2020くコロナ禍で家族葬はどう変わったか」というまさにタイムリーな



(上) スライドの内容を説明する住職 (左下) 参加者の様子 (右下) 今野さんと住職

私を目指す社会インフラとしてのお寺は単なる施設としてそこに仲間入りするだけでなく、お寺として社会のマイノリティをオベレーションする一役を担えれば、地域でのプレゼンスも高まるでしょう。むしろ今からそのビジョンをもって寺づくりを臨むべきかもしれません。

開催し子供百人のエントリーも五十名ずつの二部制という形式を選択しました。近隣の紅桜公園にて駐車場をお借りし、お寺までのシャトルバスも運行しました。感染対策を徹底すれば検温・消毒の手間もかかり、難しい条件が重なりましたが、初のお寺開催としては、堂々たる完成度であったと言えます。振り返れば開催そのものが勇気ある決断だったわけですが、決め手になったのは、「何をやるか、どうやるか」ということよりも「どんな立場をもってやるか」というところを考えたことだと思えます。地域のお寺という立場でものを見た時、やはり何もかもゼロにしてしまふよりは、工夫しながらでもやるんだという行動様式を社会に提示する方が大事だと感じ、その通りに行動しました。



千本引きくじゲーム

Instagram
「観音院」で検索できます。
是非フォローお願いします！

お寺の四つ折りパンフレット製作

構想はあったものの長らく行動に移せていませんでしたが、この度お寺の4つ折りパンフレットを製作致しました。これまで納骨堂のご案内については備えはあったのですが、お寺の全貌を紹介する類のものはありませんでした。中々手が付けられなかった理由の一つは、どうせなら内容もデザイン制作も住職自ら手掛けたいと考えており、それにはそれ相応の時間とエネルギーが必要だったからです。原稿を考えて創作自体は外部に依頼するのはが悪いとは言いませんが、自分で出来ることは自分でやってみると